

戦略 1 攻めの「やまなし」成長戦略

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	1	やまなしを牽引する産業の育成	計画掲載施策数	8
【政策の基本的な考え方】 世界的に進んでいる第4次産業革命は、これまでのものづくりの方法を大きく変え、産業構造やさらには社会構造を変革していくとされています。そのため、本県の基幹産業である機械電子産業の優れた技術の蓄積を生かしながら、新たな技術等を取り入れ、今後も成長が期待されている医療や健康に関連した産業や、次世代のエネルギーに関連した産業などを育成するとともに、起業の促進を図ります。 また、成長が見込まれるアジア諸国や日本における成長の中心である東京と、中部横断自動車道やリニア中央新幹線により、大幅に時間距離が短縮し、物流環境をはじめ、ヒトやモノが迅速に移動可能となる環境が整備されるメリット、観光資源としての富士山の優位性などを最大限活用して民間資本の誘致などを進めるとともに、オリンピック・パラリンピックの開催を起爆剤とした県内産業の活性化やデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進などにより、次代を担う産業の育成を図ります。				
令和3年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ 医療機器関連産業の集積		P.3	産 業 労 働 部
	○ 水素・燃料電池関連産業の集積		P.3	産 業 労 働 部
	○ 企業立地の促進		P.3	産 業 労 働 部
	○ リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進		P.4	リニア未来創造局 外
	○ 起業（創業）支援の充実・強化		P.4	産 業 労 働 部
	○ 東京オリンピック・パラリンピックへの対応		P.5	スポーツ振興局
	○ スポーツによる地域振興（東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用）		P.5	スポーツ振興局
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		7,482 百万円	
	前年度までの事業費		5,169 百万円	
	本年度の事業費		2,313 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	1-1-1 医療機器関連産業の集積				(産業労働部)
	医療機器関連分野への参入企業数	61 社 (H30)	100 社 (R 4)	123 社 (R 3)	159.0
	1-1-2 水素・燃料電池関連産業の集積				(産業労働部)
	水素・燃料電池関連分野への参入企業数	50 社 (H30)	70 社 (R 4)	75 社 (R 3)	125.0
	1-1-3 企業立地の促進				(産業労働部)
	地域未来投資促進法(ものづくり、物流等)に基づく事業者の立地計画の承認件数	33 件 (H29 - 30 累計)	39 件 (R1 - 4 累計)	29 件 (R1 - 3 累計)	74.4
	1-1-5 起業(創業)支援の充実・強化				(産業労働部)
	県支援による起業	63 件 / 年 (H30)	80 件 / 年 (R 4)	216 件 / 年 (R 3)	900.0
	1-1-8 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進				(知事政策局)
	DXに資する実証実験等の累積事業数	—	5 件 (R 4)	4 件 (R 3)	80

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
医療機器関連産業 の集積 【成長産業推進課】 ①	商 工 総 務 費 (51,367) 49,262 ①	医療機器関連産業の集積を促進するため、専門支援組織のメディカル・デバイス・コリドー推進センターを設置し、中小企業等の医療機器関連分野への進出を支援した。 これにより、医療機器関連産業への参入企業の増加に寄与した。 ①医療機器関連分野への参入企業数 123 社
水素・燃料電池関 連産業の集積 【成長産業推進課】 ①②	企業立地対策費 (73,160) 71,052 ①②	2050 年カーボンニュートラル実現に向け成長が期待される水素・燃料電池関連産業の進展を図るため、山梨大学などと連携して中小企業等の本産業への進出を支援するとともに、先端的な評価・研究を推進した。 これにより、水素・燃料電池関連分野への参入企業の増加や評価・研究の進展に寄与した。 ①水素・燃料電池関連分野への参入企業数 75 社 ②産業技術センターにおける評価事業の実施
企業立地の促進 【成長産業推進課】 ①②③	企業立地対策費 (1,329,780) 1,309,031 ①②③	雇用の確保や県内経済の活性化を図るため、工業団地の整備を行う市町村等を支援するとともに、各種の支援制度や法令等に基づく税制優遇等により、本県への企業立地や事業の拡大を促進した。 これにより、県内への製造業等の企業立地が進み、雇用の確保や県内経済の活性化が図られた。 ①市町村等の工業団地整備への支援 4 件 ②産業集積促進助成金による立地企業に対する支援 11 件 ③地域未来投資促進法（ものづくり、物流等）に基づく事業者の立地計画の承認件数 16 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進 【リニア未来創造・推進課】 ①③④ 【防災危機管理課】 ② 【道路整備課】 ⑤⑥ 【高速道路推進課】 ⑦	企 画 総 務 費 (306,822) 245,742 [40,247] ①②③④ 道路橋りょう建設費 (255,873) 110,347 [145,526] ⑤ 道路橋りょう整備費 (71,603) 16,919 [54,684] ⑥	リニア開業を契機に県内経済の活性化を図るため、令和2年3月に策定したリニアやまなしビジョンに基づき、テストベッドの聖地化に向けた取り組みや防災バックアップ機能の検討並びに施策の周知、リニア駅と既存駅とのアクセスについての検討などを進めた。 また、建設工事を予定どおり進めるため、計画的に用地取得を進めた。 これにより、リニア中央新幹線開業に向けた取り組みの推進に寄与した。 ①最先端技術を活用した実証実験の支援 8 件 ②防災バックアップサポートデスクの設置・周知 ③リニア駅と既存駅とのアクセスを検討 ④リニア中央新幹線に係る用地を6割強取得 ⑤リニア駅アクセス道路周辺の一部用地を取得 ⑥リニア駅前エリア概略検討の実施 ⑦(仮称)甲府中央スマートICの整備促進
起業(創業)支援の充実・強化 【成長産業推進課】 ①②③④ 【産業振興課】 ⑤	商 工 総 務 費 (46,950) 29,339 ①②③④ 金 融 対 策 費 (300,000) 180,548 ⑤	本県における起業(創業)を促進し、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における二拠点居住や移住にもつなげるため、機運の醸成やノウハウの提供、資金面の支援を行うとともに、産学官金連携による支援体制を強化した。 これにより、更なる起業(創業)支援の充実・強化に寄与した。 ①高校生向けビジネスアイデアコンテスト参加 7 校 64 人 ②ビジネスプランコンペ参加 30 組 38 人 ③起業支援金支給 9 件 ④やまなし創業チャレンジ応援事業費補助金交付 29 件 ⑤商工業振興資金起業家支援融資の利用 155 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
東京オリンピック・パラリンピックへの対応 【スポーツ振興課】 ①②③④	企画総務費 (159,535) 154,649 ①②③④	東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレースの開催や、オリンピック・パラリンピック聖火リレー等の円滑な実施により、本県の魅力を世界へ向けて情報発信した。 ①東京 2020 オリンピック・パラリンピック山梨県実行委員会の開催 2 回 ②オリンピック聖火リレー・フェスティバルの実施 令和 3 年 6 月 ③東京オリンピック競技大会自転車競技ロードレースへの対応 令和 3 年 7 月 ④パラリンピック聖火リレー・フェスティバルの実施 令和 3 年 8 月
スポーツによる地域振興 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用) 【スポーツ振興課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧	企画総務費 (147,112) 145,663 ③④⑤⑥⑦	東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、スポーツによる地域振興を図るため、大会及び事前合宿、関連イベントの円滑な実施を進めるとともに、スポーツ成長産業化戦略の推進に取り組んだ。 これにより、大会会場地及び合宿地としての本県の認知度やステイタスの向上に寄与した。 ①令和 3 年度末現在のホストタウン登録数 15 市町村 ②共生社会ホストタウン登録数 1 市 1 町 ③ホストタウン登録市町村が行う交流・機運醸成事業を支援 4 市町村 ④ホストタウン登録市町村の選手受け入れ時の感染症対策 11 市町村 ⑤やまなしホストタウンフェスティバルの開催 令和 3 年 6 月から ⑥スポーツコミッション設立準備委員会の開催 6 回 ⑦スポーツイベント・合宿の誘致 ⑧新しいスポーツによるスポーツ参加 4 団体

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
デジタルトランス フォーメーション (D X) の推進 【DX推進グループ】 ①② 【情報政策課】	情 報 管 理 費 (352) 89 ②	D Xに資する実証事業等に取り組むとともに、山梨 県デジタルトランスフォーメーション推進計画に記載 された事業により、産業、暮らし、行政の3つのD X を推進した。 これにより、I C Tの利活用や蓄積されたデータの 有効活用による社会全体の変革の促進に寄与した。 ①D Xに資する実証事業等の実施 4 件 ②D X・アドバイザー・ボードの開催 3 回

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	2	観光産業の振興	計画掲載施策数	19
【政策の基本的な考え方】 本県には、世界遺産である富士山をはじめ、御嶽昇仙峡など4つの日本遺産や、身延山等の歴史的な文化資産や歴史的建造物、地元特産の食材や料理、県内各地にある温泉といった観光資源が豊富にあります。観光消費額の拡大に向けては、観光産業の更なる高付加価値化に努めるとともに、安心と信頼を本県観光の新たな付加価値とするための取り組みも必要です。そのため、感染症に強い観光地づくりを進めるとともに、これまであまり活用されなかった文化芸術資源をはじめとする山梨の強みを生かした地域資源の磨き上げや、最先端技術の利活用・他分野との連携等による付加価値の高いサービスの創出に努めることで、観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」を向上させるとともに、コト消費・トキ消費に対応した観光推進、観光M a a Sの整備、さらには今後回復が期待されるインバウンド観光客の受け入れ環境の強化にも取り組んでいきます。				
令和3年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ 受入環境の整備		P. 9	観光文化部 外
	○ 地域資源の活用		P.10	観 光 文 化 部
	○ 魅力が伝わる情報発信		P.10	観光文化部 外
	○ 観光産業の生産性向上等の推進		P.11	観 光 文 化 部
	○ 地域経済を支える観光の再生と新たな展開への支援		P.12	観 光 文 化 部
	○ 観光D Xの推進		P.13	観 光 文 化 部
	○ 観光振興を通じた県内経済活性化（東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用）		P.13	スポーツ振興局 外
	○ サイクル王国やまなしの実現		P.14	県土整備部 外
	○ 南アルプス観光の促進		P.15	観光文化部 外
	○ 「ワイン県」宣言を活用した観光振興		P.16	観 光 文 化 部
	○ 世界文化遺産富士山の普及啓発		P.16	観 光 文 化 部
	○ 富士山の安全対策の実施		P.17	観光文化部 外
	○ 登山の安全の確保		P.17	観光文化部 外
	○ 伝統的観光地の再活性化		P.18	観 光 文 化 部
	○ 文化観光の推進		P.18	観 光 文 化 部
	○ 森林の保健休養機能の活用		P.19	林 政 部
	○ 地域資源を活用した農泊の推進		P.19	農 政 部
	○ 農業遺産の活用による農業振興		P.20	農 政 部
	○ インフラの価値や魅力の情報発信		P.20	県 土 整 備 部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		13,549 百万円	
	前年度までの事業費		3,942 百万円	
	本年度の事業費		9,607 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	1-2-1 受入環境の整備			(観光文化部)	
	観光客満足度	41% (H30)	50% (R 4)	46.7% (R 3)	63.3
	1-2-2 地域資源の活用			(観光文化部)	
	1-2-5 地域経済を支える観光の再生と新たな展開への支援			(観光文化部)	
	1-2-10 「ワイン県」宣言を活用した観光振興			(観光文化部)	
	観光客一人あたり平均消費額	10,616 円 (H30)	12,000 円 (R 4)	14,634 円 (R 3)	290.3
	1-2-2 地域資源の活用			(観光文化部)	
	1-2-5 地域経済を支える観光の再生と新たな展開への支援			(観光文化部)	
	延べ宿泊者数	861 万人 (H30)	970 万人 (R 4)	461 万人 (R 3)	△ 367.0
	1-2-3 魅力が伝わる情報発信			(観光文化部)	
	富士の国やまなし観光ネットアクセス数	944 万 PV (H30)	1,200 万 PV (R 4)	999 万 PV (R 3)	21.5
	1-2-4 観光産業の生産性向上等の推進			(観光文化部)	
	観光消費額	4,001 億円 (H30)	4,500 億円 (R 4)	2,690 億円 (R 3)	△ 262.7
	宿泊業・飲食サービス業従業者一人あたりの付加価値額	223 万円 (H30)	260 万円 (R 4)	—	—
	1-2-11 世界文化遺産富士山の普及啓発			(観光文化部)	
	世界遺産センター（北館＋南館）入館者数	50 万人 / 年 (H30)	71 万人 / 年 (R 4)	141,731 人 (R 3)	△ 170.6
	1-2-12 富士山の安全対策の実施			(観光文化部)	
	五合目インフォメーションセンターでの外国人等相談対応件数（開山期間中）	9,430 件 (H30)	H30 と同水準を維持 (R 4)	7,656 件 (R 3)	81.2
	1-2-16 森林の保健休養機能の活用			(林政部)	
	森林公園、森林文化の森、清里の森の利用者数	713 千人 / 年 (H30)	787 千人 / 年 (R 4)	541 千人 / 年 (R 3)	△ 232.4
	1-2-17 地域資源を活用した農泊の推進			(農政部)	
	農泊ビジネスプランの策定地区数	5 地区 (H30 累計)	15 地区 (R4 累計)	18 地区 (R3 累計)	130.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
受入環境の整備 【観光文化政策課】 ① 【観光振興課】 ②③④⑤⑥ 【観光資源課】 ⑦⑧ 【県有林課】 ⑨ 【建築住宅課】 ⑩	観 光 総 務 費 (634) 114 ①⑦ 観 光 宣 伝 費 (396) 150 ② 観 光 施 設 費 (199,609) 113,311 [11,337] ⑥⑧ 住みよい地域づくり推進費 (4,784,538) 2,988,770 [1,446,461] ③④⑤⑩ 緑のふるさと推進事業費 (11,000) 10,866 ⑨	地域全体で温かく観光客を迎えるため、住民の郷土教育やおもてなしに主体的に取り組む人材の育成、美しい景観づくり、市町村等が行う安全・安心・快適な観光施設整備への支援の実施、ユニバーサルデザイン化の推進、ハラル対応への取り組みなどを進めた。 これにより、県民等の自主的なおもてなしの取り組みの促進や、観光客の受入環境の整備に寄与した。 ①おもてなしのやまなし知事表彰 令和4年1月 10 (団体・事業者) ②中東市場受入対応セミナー開催 2回 ③やまなしグリーン・ゾーン認証取得促進機器購入支援 452件 ④やまなしグリーン・ゾーン認証施設変異株対策強化機器購入等支援 4,461件 ⑤やまなしグリーン・ゾーン認証宿泊施設変異株対策強化・高付加価値化支援事業 276件 ⑥観光資源案内板多言語化 30件 ⑦美しい景観づくり 選定会議 年2回 選定箇所 7箇所 ⑧富士の国やまなし観光振興施設整備補助金 補助対象 8市町村 事業 8事業 ⑨眺望伐採等の森林整備 7箇所 ⑩新しい生活様式推進設備改修補助金 958件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
地域資源の活用 【観光文化政策課】 【観光振興課】 ① 【観光資源課】 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩	企 画 総 務 費 (2,711) 1,779 ① 観 光 総 務 費 (88,628) 80,628 [8,000] ②③④⑤⑥⑦ ⑧⑨ 観 光 宣 伝 費 (12,500) 2,992 [8,408] ⑩	コト消費型・トキ消費型といった観光ニーズの多様化や旅行形態の変化に対応するため、魅力ある地域資源の磨き上げとともに、富裕層を含め、旅行者のニーズに適した体験型プログラムを組み込む着地型観光などの推進に取り組んだ。 これにより、地域における観光客の受入体制の整備促進や情報発信の強化に寄与した。 ①やまなし美食セミナーの開催 令和4年1月 51名参加 ②歴史の道のガイドマップブック(手引き)、御朱印帳、大判マップの作成 各2,000部 ③歴史の道のPR動画の制作 計5本 ④歴史の道ファムトリップの実施 2日間9社参加 ⑤歴史の道モニターツアーの実施 7回計71名参加 ⑥歴史の道の案内板設置 134箇所 ⑦峡東地域のワインや宿泊等の事業者が連携して行う地域活性化の取り組みへの支援 3件 ⑧日本遺産小冊子の制作 1,000部 ⑨峡南地域の観光資源ブラッシュアップ 10資源(5町×2資源) ⑩広域デジタルスタンプラリーの実施 1,718名参加
魅力が伝わる情報発信 【観光振興課】 ①②③ 【国際戦略グループ】 ④	観 光 宣 伝 費 (45,401) 44,016 ①②③ 諸 費 (3,579) 2,223 ④	本県観光の魅力が国内外の観光客に正確に伝わるよう、情報発信技術の活用や、オンライントラベルエージェントとの連携強化による効果的な情報発信に取り組むとともに、市場特性に応じた国際観光プロモーションに取り組んだ。 これにより、旅マエ、旅ナカなど観光客の多様なニーズに応じ、必要な情報が容易に取得できることに寄与した。 ①富士の国やまなし観光ネットでのページビュー数 999万PV(前年比108.4%) ②オンライントラベルエージェントと連携した海外への情報発信 1回106万人視聴 ③山梨PR大使による中東向けプロモーションの実施 ④海外からの研修員の受入による国際交流の推進 ・海外技術研修員の受入は新型コロナウイルス感染症の拡大により不実施 ・留学生への生活指導業務については実施

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
観光産業の生産性 向上等の推進 【観光文化政策課】 ①② 【観光振興課】 ③④⑤⑥	観 光 総 務 費 (12,000) 8,709 ③④⑤	裾野が広い観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」を高めるため、観光産業の生産性の向上や観光人材の育成、販路拡大に取り組んだ。 これにより、ビッグデータ等を活用した観光協会の取り組みや観光客の消費喚起に寄与した。 ①観光消費額 2,690 億円（前年比 96.9%） ②地域未来投資法に基づく地域経済牽引事業への支援 1 件 ③ビッグデータ等を活用した地域の観光協会の取り組み支援 3 件 ④DMOによる観光生産性向上講座の開催 延べ実施回数 18 回 延べ参加人数 892 人 ⑤DMOによる専門家派遣事業の実施 20 件 ⑥M I C E *誘致を促進するため、「やまなしM I C E ガイド」等で情報発信

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
地域経済を支える 観光の再生と新たな展開への支援 【観光文化政策課】 ①② 【観光振興課】 ③④⑤⑥⑦⑧⑨ 【観光資源課】 【世界遺産富士山課】 【文化振興・文化財課】 ⑩	観 光 総 務 費 (4,634,351) 1,443,882 [2,880,903] ①②③④ 住みよい地域づくり推進費 (3,467,638) 1,841,052 [1,446,461] ⑤⑥⑦ 企 画 総 務 費 (2,711) 1,778 ⑧ 観 光 施 設 費 (135,292) 65,331 ⑨ 考古博物館費 (6,283) 5,661 ⑩	本県の観光産業の再生に向け、落ち込んだ観光需要を喚起するとともに、安心して信頼される環境整備や、新たな観光コンテンツの開発、本県ならではの美食ブランドの創造など、観光の高付加価値化に取り組んだ。 また、働き方改革の推進を踏まえた新たな観光ビジネスの展開支援やインバウンド再開を見据えた準備を進めた。 これにより、国内外からの多くの方に選ばれる魅力ある観光地づくりに寄与した。 ①県民限定やまなしグリーン・ゾーン宿泊割り事業 192,529 人泊 ②新しい生活様式に対応したおもてなし観光人材育成事業 ・共通セミナー 観光事業者等 3 講座 計 163 名 ・新たなおもてなしに対応したおもてなし人材育成支援事業 33 名 7 講座 (体験研修 2 回含む) ・次世代グリーン・ホスピタリティ観光人材育成事業 2 地域 各 15 講座 ③教育旅行の県内誘致 10,848 人 ④プレミアムツアー造成支援による誘客 6,376 人 ⑤やまなしグリーン・ゾーン認証取得促進機器購入支援 452 件 ⑥やまなしグリーン・ゾーン認証施設変異株対策強化機器購入等支援 4,461 件 ⑦やまなしグリーン・ゾーン認証宿泊施設変異株対策強化・高付加価値化支援事業 276 件 ⑧やまなし美食セミナーの開催 令和 4 年 1 月 51 名参加 ⑨観光資源案内板多言語化 30 件 ⑩山梨・静岡文化財交流展示会 開催回数 各 1 回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
観光D Xの推進 【観光文化政策課】 【観光振興課】 ①②③ 【観光資源課】 【世界遺産富士山課】 ④ 【文化振興・文化財課】 ⑤	観光総務費 (219,950) 219,710 ①②③ 企画総務費 (17,380) 17,380 ④ 考古博物館費 (132) 121 ⑤	一次交通と二次交通や様々な観光事業者等と連携し、シームレスな移動、予約・決済等の一元化・キャッシュレス化等を実現する「やまなし観光M a a S」の整備などによって、観光客の利便性・快適性の向上や、ウィズコロナ・ポストコロナ対応の新しい観光コンテンツの魅力向上を図るなど、D X活用により観光の高付加価値化を進め、国内外からの一層の集客と長期滞在・県内周遊の促進等の取り組みを行った。 これにより、観光D Xの推進に寄与した。 ①やまなし観光M a a S実証事業の実施 パス購入者 1,544 人 ②G o o g l e ビジネスプロフィールへの登録支援 2,007 件 ③A I チャットボットの導入 令和4年3月 ④富士山世界遺産センターにVR(仮想現実)技術を活用した映像コンテンツを整備 令和4年3月 ⑤先端技術であるA R(拡張現実)を活用した主要な古墳等を復元するアプリの作成 アプリ利用者数 3,469 人
観光振興を通じた 県内経済活性化 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用) 【スポーツ振興課】 ① 【観光振興課】 ③ 【県有林課】 ②	企画総務費 (260) 260 ① 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (600) 471 ② 観光総務費 (1,000) 968 ③	東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、観光振興を通じた県内経済の活性化を図るため、本県の魅力の積極的な情報発信に取り組んだ。 これにより、県の認知度向上に寄与した。 ①在日フランス商工会議所の会員となり情報を交換 ②選手村からの返却材の運搬 34 m³ ③1都10県連携によるプロモーションサイトの運用 S N S ・ 広 告 配 信 の P V 数 1,691 万 P V

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
サイクル王国やまなしの実現 【道路整備課】 ①②③ 【交通政策課】 ④⑤⑥ 【観光振興課】 ⑦⑧	道路橋りょう建設費 (180,958) 48,712 [132,246] ②③ 道路橋りょう整備費 (11,022) 15 [11,007] ② 道路橋りょう総務費 (111,024) 110,531 ②③ 交通安全推進費 (2,328) 1,809 ④⑤⑥ 観光総務費 (33,275) 33,275 ⑦⑧	東京オリンピックの自転車競技ロードレースコース等を活用し、本県への誘客を促進し、地域活性化につなげるとともに、自転車の安全で適正な利用等を促進し、「サイクル王国やまなし」を実現するため、自転車利用環境の整備、観光資源を活用した魅力づくりとインターネット等を通じた情報発信、受入環境の形成、自転車を活用した健康増進、スポーツ振興、安全適正利用の促進等に取り組んだ。 また、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車損害賠償責任保険等への加入促進等を図るための施策に取り組んだ。 これにより、自転車による地域活性化のための環境が整備された。 ①やまなし自転車活用戦略会議の開催 令和4年3月 ②峡東地域部会の開催および峡東地域モデルルート作成 2回 延長 61.0 km ③矢羽根型路面表示の整備 国道 413 号外 6 路線 延長 30.5 km ④自転車小売業者及び自転車貸付事業者への個別訪問による条例普及啓発活動 234 事業者 ⑤自転車損害賠償責任保険等加入済みステッカーの配布 844 枚 ⑥高校生交通安全CMコンテストの開催 募集期間：令和3年12月～令和4年2月 受賞作品：6 作品 表彰式：令和4年3月 ⑦「富士の国やまなしを全力で走る+」サイト等における、サイクルの魅力や観光スポットの情報発信 ページビュー数 159,194 PV (前年比 118.7%) ⑧本県独自のサイクルツーリズムを推進するため、坂道コースの選定と利用促進イベントを実施

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
南アルプス観光の促進 【南アルプス観光振興室】 ①②③④ 【道路整備課】 ⑤ 【治山林道課】 ⑥	観 光 総 務 費 (41,166) 24,546 [14,982] ①②③④ 道路橋りょう建設費 (436,537) 284,567 [151,970] ⑤ 道路橋りょう整備費 (128,405) 115,912 [12,493] ⑤ 道路橋りょう総務費 (1,090,251) 778,223 [312,028] ⑤ 林 道 費 (170,767) 154,875 [15,892] ⑥ 林 道 費 (恩賜県有財産特別会計) (183,136) 128,864 [54,272] ⑥	南アルプス観光のグレードアップを図るため、令和2年3月に策定した「南アルプス観光振興ビジョン」に基づき、具体的施策の展開等を推進するため、南アルプス観光推進協議会を立ち上げ、関係機関と南アルプス地域の魅力向上を図るための取り組みについて協議を行うとともに、南アルプス地域へのアクセス、災害時の避難や救援、物資輸送等を支える交通基盤の整備を計画的に進めた。 これにより、南アルプス観光の促進に寄与した。 ①南アルプス観光推進協議会の開催 2回 ②南アルプス観光推進協議会ワーキンググループの開催 2回 ③広河原の無料W i - F i の運用 ④地域ならではの観光商品開発 (M A G U C L) 物産商品 4商品、体験商品 4商品 ⑤早川芦安連絡道路の整備 ⑥南アルプス林道の整備 4箇所

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
「ワイン県」宣言 を活用した観光振 興 【観光振興課】 ①②③	企画総務費 (15,000) 15,000 ①②③	「ワイン県」宣言や日本遺産（日本ワイン 140 年史）を契機に、本県への誘客および県産ワインの高付加価値化を図るため、本県のワインの魅力を全国に向けて情報発信を行った。 また、令和 2 年 7 月に「C a v e d e ワイン県やまなし」としてリニューアルしたアンテナレストランを首都圏におけるワイン県の魅力発信拠点として、県産食材を使用した料理の提供、物販を行った。 これにより、ワイン県の魅力を掘り下げて紹介することができ、他産地との差別化を図るとともに、ワイン県認知度向上に寄与した。 ①ワイン県やまなしの多様性を打ち出した P R ②豊かな自然景観や食など他の観光資源と山梨ワインを絡めた P R ③ワイン県副知事を活用したプロモーション テレビ 4 回、新聞 9 紙、雑誌 5 誌 W E B 記事 91 回掲載
世界文化遺産富士 山の普及啓発 【世界遺産富士山課】 ①②③④	企画総務費 (187,437) 175,420 ①②③④	富士山の顕著な普遍的価値の理解を促進するため、富士山世界遺産センターを中心に、各構成資産をつなぐ巡礼路の活用や、リバーズ！富士講プロジェクトなどの実施、キッズ・スタディ・プログラムの推進等に取り組んだ。 これにより、富士山の顕著な普遍的価値に対する理解の促進に寄与した。 ①普及啓発物品（蛍光マーカー）の配布 10,000 個 ②富士山公式ガイドブックの配布 8,000 部 ③現地研修の開催 8 回 ④富士山世界遺産センター南館のリニューアル

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
富士山の安全対策 の実施 【世界遺産富士山課】 ①②③④⑤⑥⑦ 【道 路 管 理 課】 ③	企 画 総 務 費 (168,047) 139,838 ①②③④⑤⑥ ⑦ 道 路 橋 り ょ う 整 備 費 (4,175) 4,175 ③ 道 路 維 持 費 (43,057) 43,057 ③	富士登山者や来訪者の安全確保を図るため、関係機関と連携した情報共有の体系化を図るとともに、登山指導やパトロール、救護所等の安全対策を実施したほか、感染リスクの低減を図る取り組みを行った。 これにより、富士登山の安全確保に寄与した。 ①標識設置・撤去 64 カ所 ②インフォメーションセンター外国人等相談対応件数 7,656 件 ③富士山登下山道維持管理業務実施 令和3年6月～令和3年9月 ④事前指導の実施 令和3年7月～令和3年9月 ⑤登下山道標識の多言語表示や道標の管理 令和3年7月～令和3年9月 ⑥噴石や落石等から登山者を守る退避壕等の設置に向けた調査の実施 令和3年6月～令和4年3月 ⑦登山者への検温・体調確認の実施 令和3年7月～令和3年9月
登山の安全の確保 【観光資源課】 ①②④ 【警：地域課】 ③	観 光 総 務 費 (6,756) 5,233 ①② 住みよい地域づくり推進費 (435,368) 199,003 ④ 一般警察活動費 (2,771) 2,454 ③	登山の安全の確保を図るため、条例の周知・普及啓発を進めるとともに、厳冬期（12月から翌3月）の間は富士山、八ヶ岳、南アルプスの山域の登山口で登山届の提出指導などを行った。 また、登山の安全の確保を図るため、年間を通し計画的に山岳遭難救助訓練を実施し、救助技能を向上させた。 これにより、条例に定める登山の安全の確保のための環境の整備が図られ、本県の山岳観光振興に寄与した。 ①安全登山推進会議 2 回 ②登山口指導等 県内 7 箇所 登山口指導期間 61 日間 参加者 延べ 149 人 ③山岳遭難救助訓練の実施 19 回 計 35 日 ④山小屋施設が行う感染症対策への支援 32 施設

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
伝統的観光地の再 活性化 【観光文化政策課】 【観光資源課】 ①②③④⑤⑥	観 光 総 務 費 (7,948) 4,960 ①②③④⑤⑥	観光産業を県内産業の稼ぎの柱とすべく、観光入込客数や観光消費額の停滞に伸び悩む伝統的観光地の再活性化を図るため、地元自治体を主体に、観光事業者等の関係団体や、有識者等で構成する会議を設置・開催し、具体的な施策等を検討するとともに、当該検討結果に基づき、それぞれの立場において取り組みの支援を行った。 これにより、事業者、行政、住民が課題や解決方法を共有した上で、それぞれの立場で取り組みを実施していく体制が構築された。 ①昇仙峡地域活性化推進協議会の開催 2回 ②県営駐車場トイレの改修・天鼓林周辺整備（県事業） ③ベンチの設置・日本遺産ホームページ開設（協議会事業） ④食に関するセミナーの開催 2回 ⑤食のユニバーサルデザイン事業者向けガイドライン作成 500部 ⑥グルメガイドブック作成 5,000部
文化観光の推進 【文化振興・文化財課】 ①②③④	芸術文化振興費 (37,919) 33,075 ① 文化財保護費 (1,000) 266 ② 考古博物館費 (547) 547 ③④	文化芸術資源を観光資源として活用して誘客力を高める取り組みを進めるため、様々な分野と連携、協働しながら、文化財など文化芸術資源及びその中核となる美術館等博物館施設の磨き上げを行った。 これにより、文化芸術資源を活用した付加価値の高い文化観光モデルの創出に寄与した。 ①美術館等の文化芸術資源等の保存と活用を図るため、ミレー作品の高精細画像（解像度 10000 dpi）を作成 ②文化資源高付加価値化促進事業の実施 1市1事業（対象：笹子追分人形芝居（大月市）） ③パネル展示の開催 1回 ④講演会、ギャラリートークの開催 各1回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
森林の保健休養機能の活用 【森 林 政 策 課】 ⑤ 【県 有 林 課】 ①②③④	緑のふるさと推進事業費 (224,729) 217,716 [4,486] ①②③ 保 護 管 理 費 (恩賜県有財産特別会計) (271,908) 221,317 [33,635] ①④ 林 業 総 務 費 (8,092) 7,855 ⑤	観光・レクリエーション利用を促進し地域の活性化を図るため、森林公園や森林文化の森などにおいて、地域の福祉・観光等の様々な分野と連携した森林利用プログラムの提供や計画的な施設の更新・改修、コロナ禍に対応し感染予防対策や誘客促進事業などを行うとともに、民間による森林空間を活用した新たなビジネスの創出に対し支援を行った。 これにより、森林が有する保健休養機能の活用に寄与した。 ①森林公園等の利用者数 541 千人 ②ライン・ヴァルト*の利用促進の働きかけ 48 社 ③金川の森の長寿命化と森林セラピー基地づくり 遊具等の更新、休憩舎等の新設 ④清里の森の再整備 別荘地内道路舗装改修等 ⑤森林空間活用への支援 恵みの森モデル林の整備 3 箇所 森林活用ビジネス創出への支援 2 箇所
地域資源を活用した農泊の推進 【農 村 振 興 課】 ①②③④	農 業 総 務 費 (2,500) 2,098 ①②③④	県内各地の農村地域の古民家や伝統食などを観光資源として活用した農泊を推進するため、ビジネスプランの策定等に対し支援した。 これにより、農泊に取り組もうとする地域の意欲の醸成や、取り組み団体のネットワーク化が図られるとともに、実際に受け入れ可能な団体が増加し、本県の農泊の推進に寄与した。 ①農泊ビジネスセミナーの開催 3 回 ②ビジネスプランの作成支援 8 地区 ③ビジネスプラン磨き上げ・モデルツアーの実施支援 2 地区 ④情報交換会の開催 令和 4 年 2 月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農業遺産の活用による農業振興 【農政総務課】 ①②③④⑤⑥⑦	農 業 総 務 費 (2,263) 1,735 ①②③④⑤⑥ ⑦	ぶどうやももなどの果樹農業を将来にわたって維持発展させ、景観の保全を図るため、峡東3市及び関係団体と連携し、世界農業遺産への認定手続きを進めるとともに、果樹農業システムの保全・活用に向けた取組を支援した。 これにより、果樹農業システムの保全に係る農業者や地域住民の意識の醸成が図られ、地域活性化に寄与した。 ①峡東地域世界農業遺産推進協議会総会の開催 2回 ②果樹農業システムの保全・活用に向けた検討会の開催 4回 ③小中学生への理解促進のための物品配布 クリアファイル 4,000部 下敷き 3,000部 ④高校での農業遺産教育セミナー開催 1回 ⑤住民向け農業遺産体験プログラムの開催 4回 ⑥地域外向け果樹農業システム体験ツアー 8回 ⑦農業遺産保全・活用の取組の情報発信 58回
インフラの価値や魅力の情報発信 【景観づくり推進室】 ①②	土 木 総 務 費 (1,720) 1,653 ①②	インフラへの理解を深めるとともに新たな観光資源として県内外からの誘客や地域の活性化を促すため、インフラが持つ役割とその技術的、文化的な価値や魅力についてポータルサイト「富士の国やまなしインフラガイド」及びインスタグラム「県土やまなし未来づくり」にて情報発信した。 また、効果的・継続的にインフラの魅力を発信できるよう関係機関との連携体制を構築した。 これにより、県民や県外観光客に対するインフラの価値や魅力の認知度向上に寄与した。 ①ポータルサイト等の開設・運営 紹介施設 61施設 動画掲載施設 9施設 インスタグラム開設 フォロワー数 201人 (令和4年3月末現在) ②建設や観光分野の庁外組織と情報発信体制の構築 3団体

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	3	農業の成長産業化	計画掲載施策数	10
【政策の基本的な考え方】 ぶどうやももなどの果実は、本県の農業生産額の過半数を占める基幹品目となっています。今後は、首都圏などの国内市場に加え、アジア諸国を中心とした海外市場において、一層のブランド強化と販路拡大を進め、高品質で付加価値の高い農産物の生産拡大を図ります。 また、4パーミル・イニシアチブ等地球環境に配慮した農業や、県産の野菜や米、食肉、魚、花きなどのブランド力の強化を進めるとともに、ICT等を活用したスマート農業の研究、普及を進めるなど、生産コストの低減や省力化を進め、収益性の向上を図ります。				
令和3年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ ビッグデータを活用したスマート農業の推進		P.24	農 政 部
	○ 県産農産物等の輸出拡大		P.25	農 政 部
	○ オリジナル品種の育成、高品質化の推進		P.26	農 政 部
	○ 農業競争力を強化するための基盤整備の推進		P.26	農 政 部
	○ 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進		P.27	農 政 部
	○ 水田のフル活用の推進		P.28	農 政 部
	○ 農地集積の促進		P.29	農 政 部
	○ 農業の6次産業化の推進		P.29	農 政 部
	○ 内水面漁業の振興		P.30	農 政 部
	○ 家畜の防疫対策		P.30	農 政 部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		21,704 百万円	
	前年度までの事業費		14,613 百万円	
	本年度の事業費		7,091 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名				(成果指標担当部局名)
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	1-3-2 県産農産物等の輸出拡大				(農政部)
	県産果実の輸出額	925 百万円 (H30)	1,300 百万円 (R 4)	1,756 百万円 (R 3)	221.6
	1-3-3 オリジナル品種の育成、高品質化の推進				(農政部)
	赤系ぶどう苗木供給本数	0 本 (H30)	7,000 本 (R4 累計)	6,010 本 (R3 累計)	85.9
	試験研究成果情報数	10 件 / 年 (H30)	10 件 / 年 (R 4)	10 件 / 年 (R 3)	100.0
	1-3-4 農業競争力を強化するための基盤整備の推進				(農政部)
	果樹産地等における基盤整備面積	4,294 ha (H30 累計)	4,700 ha (R4 累計)	4,602 ha (R3 累計)	75.9
	1-3-5 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進				(農政部)
	オリジナル品種等出荷量 夢みずき (もも)	22t/ 年 (H30)	330t/ 年 (R 4)	278t/ 年 (R 3)	83.1
	オリジナル品種等出荷量 ブラックキング (ぶどう)	0t/ 年 (H30)	100t/ 年 (R 4)	20t/ 年 (R 3)	20.0
	オリジナル品種等出荷量 甲州牛	389 頭 / 年 (H30)	500 頭 / 年 (R 4)	493 頭 / 年 (R 3)	93.7
	1-3-5 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進				(農政部)
	1-3-9 内水面漁業の振興				(農政部)
	オリジナル品種等出荷量 富士の介	0t/ 年 (H30)	60t/ 年 (R 4)	55t/ 年 (R 3)	91.7
	1-3-6 水田のフル活用の推進				(農政部)
	麦、大豆、加工・飼料用米等の作付面積	337 ha (H30)	381 ha (R 4)	349 ha (R 3)	27.3
	1-3-7 農地集積の促進				(農政部)
	集積率	38.6% (H30)	44.5% (R 4)	45.1% (R 3)	110.2
	荒廃農地解消累計面積	2,234 ha (H30)	2,870 ha (R 4)	2,886 ha (R 3)	102.5

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	1-3-8 農業の6次産業化の推進				(農政部)
	6次産業化に新たに取り組む農業者等	92 経営体 (H30)	132 経営体 (R 4)	122 経営体 (R 3)	75.0
	1-3-10 家畜の防疫対策				(農政部)
	モニタリング検査数	116 件 / 年 (H30)	116 件 / 年 (R 4)	116 件 / 年 (R 3)	100.0
	防疫演習	4 回 / 年 (H30)	4 回 / 年 (R 4)	3 回 / 年 (R 3)	75.0
	立入検査・指導	2 回 / 年 (H30)	2 回 / 年 (R 4)	2 回 / 年 (R 3)	100.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
ビッグデータを活用したスマート農業の推進 【農業技術課】 ①②③ 【農村振興課】 ④	総合農業技術センター費 (1,000) 836 ① 農業改良普及費 (159,920) 123,828 ②③ 農業総務費 (9,168) 9,168 ④	省力化技術やＩｏＴ等を活用した先進技術を普及するため、自動田植え機など８件の先進技術の導入・実証への支援を行った。 また、シャインマスカット等の生産性の飛躍的向上を図るため、「データ農業」の技術開発に着手した。 これにより、高品質化や省力化等の生産性向上を図るスマート農業の推進に寄与した。 ①ＡＩを活用した野菜の病虫害診断技術の開発 なすの病虫害診断 １件 ②ＩｏＴ等の先進技術の導入、実証 自動田植え機、農薬散布用ドローンなど ４件 ③センシング等によるデータを活用した生産性向上 品目選定 施設栽培：シャインマスカット、きゅうり 露地栽培：シャインマスカット、なす ④スマート農業導入に向けた機器整備等への支援 環境測定装置、ラジコン草刈り機など ４件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県産農産物等の輸出拡大 【販売・輸出支援課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	果樹園芸等振興費 (39,624) 37,499 ②③④⑤⑥⑦⑧ 農 業 総 務 費 (11,304) 2,906 [8,398] ⑨	県産農産物等の輸出を拡大するため、検疫条件が未設定の中国等へのぶどう輸出の実現に向けて取り組むとともに、輸出の促進に向けた新たな体制づくりと、アジア諸国への戦略的・効果的な販売促進活動を推進した。 これにより、県産農産物等の現地での更なる認知度向上が図られ、令和3年の輸出額実績は、令和4年目標である13億円を1年前倒して達成し17億円を超えるなど、アジア諸国への輸出促進に寄与した。 ①ぶどうの輸出解禁に向けた国等への要望 中国・ベトナム 5回 ②果実輸出に関する市場調査 令和3年5月～令和4年2月 ③輸出先地域へ向けたSNSでの情報発信 香港、台湾、中国 令和3年6月～令和4年2月 ④店頭等でのプロモーション活動 香港 3回 台湾 3回 ⑤成功モデルとなる輸出商流の構築（試験的輸出） 香港 3回 タイ 1回 ⑥フルーツショップの設置 香港 3回 台湾 2回 ⑦フルーツフェアの開催 タイ 令和3年9月 シンガポール 令和3年7月 ⑧在日大使館へのPR活動 大使館訪問 6カ国 駐日大使等を招聘 3カ国 ⑨海外商標登録の申請 「おいしい未来へ やまなし」ロゴマーク 9カ国 「4パーミル・イニシアチブ」ロゴマーク 9カ国

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
オリジナル品種の育成、高品質化の推進 【農業技術課】 ①②④ 【果樹・6次産業振興課】 ②⑤ 【販売・輸出支援課】 【食糧花き水産課】 ③ 【農村振興課】 ⑤	果樹試験場費 (6,932) 6,622 ①④ 総合農業技術センター費 (6,182) 6,073 ④ 果樹園芸等振興費 (246,721) 183,851 ②③⑤ 農業総務費 (10,885) 10,885 ⑤	本県農産物のブランド化と産地化を進め、農業者の所得向上を図るため、本県農産物のオリジナル品種の育成、高品質・省力化に向けた試験研究や、販路拡大等を推進するとともに、高品質化や生産安定に向けた施設の整備等を進めた。 これにより、果樹のオリジナル品種候補の選定や、「甲斐ベリー7」や「ピラミッドアジサイ」の産地化が進むとともに、ぶどうの施設化の促進等により、農家の所得向上と産地の維持・発展に寄与した。 ①果樹等のオリジナル品種の育成 育成中 大粒かつ着色良好な赤系及び黒系ぶどう 各1系統 大玉で食味の優れたもも 2系統 ②赤系ぶどう（新品種）の早期産地化 苗木供給本数 約3,500本 面積（推計） 約30ha ③ピラミッドアジサイオリジナル品種 切り花 出荷量4,150本 出荷農家数5戸 鉢物 出荷量3,130鉢 出荷農家数6戸 ④農作物の高品質化・省力化栽培技術の開発・普及 10件 「施設トマト栽培へのICT機器の効率的活用法」 「シャインマスカットの樹形改造による収量向上」 など ⑤ぶどう加温ハウスや雨よけ施設の整備等の支援 整備件数 124件 整備面積 約15ha
農業競争力を強化するための基盤整備の推進 【耕地課】 ①②	農地総務費 (10,113) 5,979 ①② 土地改良費 (5,676,164) 3,211,471 [2,414,108] ①②	県産農産物の生産性向上及び生産者の所得向上を図るため、担い手のニーズに対応しつつ、果樹産地等におけるほ場や農道、用排水路などの農業生産基盤の整備を推進した。 これにより、果樹産地等の再編整備が進み、機械化による農作業の省力化・効率化が図られ、農業の競争力強化に寄与した。 ①ほ場、農道等の農業生産基盤整備 身延北部地区 外17地区 ②樹園地等の農地の総合的な整備 みさか桃源の郷地区 外34地区

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進 【販売・輸出支援課】 ①②③④⑤⑥⑭⑮⑯⑰⑱ 【農業技術課】 ⑦⑧⑨⑩⑪ 【果樹・6次産業振興課】 【畜産課】 ⑫⑬⑯⑰ 【食糧花き水産課】 ⑱ 【農政総務課】 ⑳	農業総務費 (80,295) 77,548 ①②③④⑤⑥ ⑦⑭⑮⑯⑰⑱ ㉑ 農業改良普及費 (748) 520 ⑩⑪ 畜産振興費 (1,924) 960 ⑬⑯⑰ 酪農試験費 (2,329) 2,329 ⑫	県産農産物等のブランドを全国に浸透させるため、これまで以上に農業関係団体と連携を深め、民間ノウハウを活用したPRなど新たな取り組みや市場、小売店等における販売促進活動の強化を図った。 これにより、首都圏等の大消費地において「おいしい未来へ やまなし」をキャッチフレーズに県オリジナル品種、甲州牛、富士の介等の品質の高さだけでなく、「4パーミル・イニシアチブ」や「アニマルウェルフェア」等のSDGsに貢献する本県独自の取り組みなど、県産農畜水産物等の魅力について更なる認知度向上が図られ、ブランドの浸透と強化に寄与した。 ①Y o u T u b eによるPR ②ヴァンフォーレ甲府アウェイ用練習着によるPR等 ③有名百貨店等におけるフルーツフェアの実施 31店舗 ④大消費地等でのトップセールスの実施 京浜地区 令和3年10月 ⑤「おいしい未来へ やまなし」のプロモーション ロゴマーク使用規程の運用開始 令和3年4月 国内商標登録 令和3年11月 出荷資材等へのロゴマーク印字の補助 10件 特設ホームページの開設 令和3年7月 交通広告の掲出 4回 メディアツアーの実施 令和3年11月 インフルエンサーによる発信 4回 ⑥4パーミル・イニシアチブ農産物のブランド化 ロゴマーク使用規程の運用開始 令和3年5月 国内商標登録 令和3年9月 小中学校等への周知、自由研究への活用促進 令和3年6月 マーケティングリサーチ 令和3年6月 アニメーション動画制作 令和3年7月 ⑦4パーミル・イニシアチブ実証ほ設置 20箇所(もも、ぶどう 各10箇所) (剪定枝量、炭化方法(樹種、太さ)バイオ炭生成量、 バイオ炭の特性等の把握) ⑧やまなし4パーミル・イニシアチブ農産物等認証制度 令和3年5月制定 認証個人・団体数71(令和4年3月末現在) ⑨4パーミル・イニシアチブ全国協議会研修会開催 2回 全国協議会参画団体42(令和4年3月末現在)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
		⑩有機農業地域普及展示は設置 2 箇所 ⑪有機農産物流通促進・交流支援セミナー 令和 3 年 12 月 ⑫畜産クラスター事業の展開 取り組み主体 10 協議会 ⑬ジビエビジネス戦略会議の開催 令和 3 年 7 月 ⑭やまなしジビエ料理コンテストの開催 令和 3 年 11 月 応募数 68 件 ⑮キャンプでジビエの実施 7 箇所 ⑯やまなしアニマルウェルフェア認証制度創設 令和 3 年 9 月 ⑰やまなしアニマルウェルフェア認証ロゴマーク制作、商標登録申請 ⑱水産物見本市への出展 令和 3 年 11 月 来場者約 2,000 人 ⑲県産食材販売のポータルサイト開設 令和 3 年 10 月 ⑳県産食材の他県学校給食への提供 令和 4 年 2 月 1 校 ㉑「バイ・ふじのくに」キャンペーン開催 道の駅富士川 令和 3 年 11 月 岡島百貨店 令和 4 年 1 月
水田のフル活用の推進 【食糧花き水産課】 ①②③	農 業 総 務 費 (40,366) 40,282 ① 主要農作物生産対策費 (46,883) 34,291 ①②③	水稲から麦や大豆、そば、加工用米、飼料作物への作付けを促進するため、転作に必要な機械等の整備を支援するとともに、国の経営所得安定対策等交付金に上乗せ助成した。 これにより、転作作物生産の省力化等、生産性の向上が図られ、転作の推進に寄与した。 ①転作の推進のため「水田収益力強化ビジョン」を策定 24 市町村 ②転作作物等の生産拡大に必要な機械・施設整備の支援（コンバイン、乾燥機等） 5 件 ③上乗せ助成面積 288.6 ha

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農地集積の促進 【担い手・農地対策課】 ① 【耕 地 課】 ②③	農 地 調 整 費 (75,569) 74,369 ① 土 地 改 良 費 (5,632,462) 3,149,745 [2,404,790] ②③	担い手への農地の集積・集約化を進めるため、農地中間管理機構が行う事業（農地の借り受け・貸し付け、当該農地の利用条件の改善）や市町村等が行う荒廃農地の再生を支援するとともに、ほ場整備や農道等の基盤整備を推進した。 これにより、基盤整備による農作業の省力化や効率化が図られ、農地の担い手への貸し付けが進み、農地集積の促進に寄与した。 ①農地集積面積 455.5 ha うち農地中間管理事業による集積面積 236 ha ②農作業の省力化、効率化に向けた基盤整備 龍岡地区 外 47 地区 ③基幹農道整備 中野地区 外 4 地区
農業の 6 次産業化の推進 【果樹・6 次産業振興課】 ①②③ 【農 村 振 興 課】 ② 【耕 地 課】 ②	農 業 総 務 費 (77,577) 26,402 [50,746] ①②③	農産物等の付加価値を高め、農家所得の向上を図るため、やまなし 6 次産業化サポートセンターを設置し、専門家による加工技術等のアドバイスなどを通じて、農業者等が取り組む商品開発や販路開拓等を支援するとともに直売所等の販売拠点の整備を支援した。 これにより、6 次産業化に取り組む経営体が増加し、農家の所得向上につながるなど農業の 6 次産業化の推進に寄与した。 ① 6 次産業化サポートセンターの専門家による支援 支 援 数 延べ 70 経営体 支援内容 加工品開発、販路開拓等 ②直売所、農産物加工施設等の整備 3 件 ワイン醸造施設、直売所販売システム ③農産加工品の P R 方法・販売モデルの活用 1 件 クラウドファンディングを活用した P R

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
内水面漁業の振興 【食糧花き水産課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩ 【販売・輸出支援課】 ⑦	水産業振興費 (65,311) 63,277 ①②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩	養殖業者の所得向上を図るため、県が開発した「富士の介」のブランド化を進めるとともに、生産拡大に支援した。 また、観光と連携して河川や湖沼における釣りなどの遊漁の活性化を図るため、水産資源の保全や漁場環境の改善に向けた啓発活動などに取り組んだ。 これにより、富士の介の需要と生産が拡大するとともに、カワウによる食害防止対策や効果的な放流指導等により遊漁券の販売額が前年に比べ増加するなど、内水面漁業の振興に寄与した。 ①富士の介種苗生産供給 発眼卵 14.5 万粒、稚魚 5 千尾 ②富士の介養殖技術現地実証 7 箇所 ③富士の介生産者連絡会議の開催 1 回 ④富士の介出荷基準に関する検討会の開催 2 回 ⑤富士の介生産業者 13 業者 ⑥富士の介出荷量 55t ⑦水産物見本市への出展 令和 3 年 11 月 来場者約 2,000 人 ⑧カワウ県下一斉追払い 令和 3 年 5 月 参加者 11 漁協延べ 673 人 ⑨コクチバス被害拡大防止対策 駆除数 324 尾 潜水による駆除 23 回 投網による駆除 20 回 ⑩内水面の適切な利用を呼びかける資料の作成、指導 資料作成 チラシ 1 万 5 千部他 指導 延べ 100 人
家畜の防疫対策 【畜 産 課】 ①②③	家畜保健衛生費 (27,920) 21,636 ②③	豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病が発生した時に円滑かつ迅速な対応を行うため、危機管理体制を構築し、疾病対策を推進した。 これにより、令和 3 年度に 2 農場で発生した豚熱については、迅速な防疫措置を行った結果、拡大の防止を図ることができた。 また、効果的なワクチン接種を行うことで、さらなる豚熱発生を防ぐことができた。 ①防疫演習の開催 3 回 ②モニタリング検査の実施 116 件 ③豚熱ワクチン接種 約 27,000 頭

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	4	林業の成長産業化	計画掲載施策数	6
【政策の基本的な考え方】 本県の人工林は、一般的な主伐期である50年生以上の森林が6割を超えているなど、本格的な伐採時期を迎えており、ウィズコロナ・ポストコロナ社会において、自然の中で働く林業は、就業や転職、移住を希望する人々の受け皿ともなり得ることから、この充実した資源を有効活用した林業の成長産業化を進め、魅力ある産業へと押し上げていく必要があります。 このため、ICTを活用した森林施業の生産性向上やスマート林業の普及、木材加工流通施設整備への支援などによる品質の高い木材製品の安定供給、東京圏や海外などへの新たな販路開拓、公共建築物の原則木造・木質化や民間建築物への県産材の利用を促進するとともに、川上側の林業と、川中・川下側の木材関連産業が連携したサプライチェーンの強化を図るなど、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用に向けた取り組みを推進します。				
令和3年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ 森林の多面的機能の持続的発揮を図る取り組みの推進		P.33	林 政 部
	○ 県産材供給体制の強化		P.33	林 政 部
	○ 県産材需要拡大の推進		P.34	林 政 部
	○ 森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進		P.34	林 政 部
	○ 特用林産物の産地化の推進		P.35	林 政 部
	○ 木質バイオマス*の利活用の推進		P.35	林 政 部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		8,962 百万円	
	前年度までの事業費		6,017 百万円	
	本年度の事業費		2,945 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	1-4-1 森林の多面的機能の持続的発揮を図る取組みの推進				(林政部)
	1-4-3 県産材需要拡大の推進				(林政部)
	木材生産量	201 千 m ³ / 年 (H30)	272 千 m ³ / 年 (R 4)	213 千 m ³ / 年 (R 3)	16.9
	1-4-2 県産材供給体制の強化				(林政部)
	製材用途の木材生産量	24 千 m ³ / 年 (H30)	32 千 m ³ / 年 (R 4)	30 千 m ³ / 年 (R 3)	75.0
	1-4-4 森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進				(林政部)
	林内路網の整備延長	4,598 km (H30 累計)	4,778 km (R 4 累計)	4,727 km (R 3 累計)	71.7
	1-4-5 特用林産物の産地化の推進				(林政部)
	クロアワビタケの生産量	0.32t/ 年 (H30)	4.00t/ 年 (R 4)	1.80t/ 年 (R 3)	40.2
	1-4-6 木質バイオマスの利活用の推進				(林政部)
	木質バイオマス燃料用木材供給量	38 千 m ³ / 年 (H30)	109 千 m ³ / 年 (R 4)	78 千 m ³ / 年 (R 3)	56.3

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
森林の多面的機能の持続的発揮を図る取り組みの推進 【森林政策課】 ①②	林業総務費 (636) 335 ① 林業試験費 (17,042) 15,152 ②	「やまなし森林整備・林業成長産業化推進プラン」に基づき、施策の総合的な実施を図ることにより、森林の多面的機能の持続的発揮に向けた取り組みの推進に寄与した。 ①山梨県森林審議会の開催（計画の進捗確認・評価等） 2回 ②森林総合研究所における試験・研究の実施 26課題
県産材供給体制の強化 【森林整備課】 ①② 【林業振興課】 ③④⑤ 【県有林課】 ②	造林費 (986,450) 490,792 [421,372] ② 林業振興指導費 (56,128) 36,998 [12,124] ①③④⑤ 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (932,172) 685,479 [232,802] ②	森林施業における伐採と造林の一貫作業システムやICT等の先端技術を活用したスマート林業の導入などによる生産性の向上や、再造林に必要な苗木の生産力強化などによる森林整備の推進、木材加工流通施設の充実、林業・木材産業関連事業者によるサプライチェーンの構築などに取り組んだ。 これにより、県産材の供給体制の強化に寄与した。 ①スギ・ヒノキの苗木生産に向けた採種園の整備 0.88 ha ②森林整備の実施面積 6,345 ha ③高性能林業機械の導入に対する助成 1件 ④製材工場におけるJAS認証取得 1件 ⑤サプライチェーンの構築に取り組んだ企業グループによる住宅建築等件数 59件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県産材需要拡大の 推進 【林 業 振 興 課】 ①②③④ 【県 有 林 課】 ⑤	林業振興指導費 (100,835) 3,754 [95,600] ①②③④ 計 画 調 査 費 (恩賜県有財産特別会計) (1,452) 810 ⑤	県産木材の利用の促進に関する基本方針に基づき、公共建築物の原則木造・木質化や、住宅、民間施設等への県産材の利用を促進するとともに、販路の拡大に向けて取り組んだ。 これにより、県産材の需要拡大の推進に寄与した。 ①公共建築物の木造・木質化 23 件 ②中大規模建築物の木造技術者向け講座開催 1 回 ③Y a m a n a s h i ウッド・チェンジ・ネットワークによるワークショップ開催 3 回 ④人と環境にやさしい多様な県産材製品開発 5 品目 ⑤県産 F S C 認証材*の展示会等での P R 5 回
森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進 【治 山 林 道 課】 ① 【森 林 整 備 課】 ② 【県 有 林 課】 ②	林 道 費 (637,260) 383,600 [252,746] ① 林 道 費 (恩賜県有財産特別会計) (1,711,565) 1,222,219 [489,274] ① 造 林 費 (64,495) 64,495 ② 造 林 費 (恩賜県有財産特別会計) (33,864) 25,022 [8,842] ② 計 画 調 査 費 (恩賜県有財産特別会計) (12,402) 12,402 ②	木材の搬出や森林施業を効率的に行うための基盤となる、林道や森林作業道等の林内路網の計画的な整備を推進した。 これにより、森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進に寄与した。 ①林道の整備 延長 5.8 km ②森林作業道の整備 延長 36.9 km

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
特用林産物の産地 化の推進 【林 業 振 興 課】 ①②③	林業振興指導費 (2,400) 2,387 ①②③	県が商標登録した「山梨夏っ子きのこ（クロアワビ タケ）」や「k a i 大黃（ダイオウ）」など山梨オリジ ナルの特用林産物新品種の栽培技術を確立するととも に、生産者の育成、販路の拡大に取り組んだ。 これにより、山村地域の活性化に向けた特用林産物 の産地化の推進に寄与した。 ①クロアワビタケの生産量 1.80t ②特用林産物の栽培技術の確立及び生産者の育成 栽培指導 34 件 研修会開催 2 回 ③道の駅等での特用林産物の P R 活動 6 回
木質バイオマスの 利活用の推進 【林 業 振 興 課】 ①②	林業振興指導費 (917) 877 ①②	木質ボイラーやペレットストーブなどの設備や木材 チップ加工施設等の整備を支援するとともに、木質バ イオマスの安定供給体制の整備に取り組んだ。 これにより、木質バイオマスの利活用の推進に寄与 した。 ①木質バイオマス燃料用木材供給量 78 千 m ³ ②設備導入に向けた専門技術者の派遣・見学会の開催 4 回

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	5	地場産業や経済を循環させる産業の強化	計画掲載施策数	10
【政策の基本的な考え方】 ワインなどのブランドは国際的に認知されてきており、織物などについてもブランド化が進みつつあります。今後は、高い品質や高度な技術を生かし、海外を含め、更にブランド化を進め、利益率の高い産業へと強化していく必要があります。 また、県内中小企業等の事業継続を図るとともに、様々な産業が県外、さらには国外から獲得した新たな需要による経済効果を地元経済に波及させ、地域経済全体を活性化するため、商業やサービス業など、地域に密着した産業の強化を図ります。				
令和3年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 企業支援の充実		P.39	産 業 労 働 部
	○ 事業承継の促進		P.39	産 業 労 働 部
	○ 地域プロモーション戦略の推進		P.40	知 事 政 策 局
	○ 産地のブランド形成の推進		P.40	産 業 労 働 部
	○ ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興		P.40	産業労働部 外
	○ 日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立		P.41	産業労働部 外
	○ 地域商業活性化への支援		P.41	産 業 労 働 部
	○ 郷土食等による地域の活性化・観光振興		P.41	県 民 生 活 部
	○ 豊かな食材を活用した食のブランドの確立		P.42	観 光 文 化 部
	○ 史跡甲府城跡の適切な継承と中心市街地の活性化		P.42	観光文化部 外
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		150,150 百万円	
	前年度までの事業費		91,362 百万円	
	本年度の事業費		58,788 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名				(成果指標担当部局名)
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	1-5-1 企業支援の充実				(産業労働部)
	経営計画・経営革新計画を作成した企業	298 社 / 年 (H30)	1,500 社 (R1 ~ 4 累計)	2,597 社 (R1 ~ 3 累計)	173.1
	1-5-2 事業承継の促進				(産業労働部)
	事業承継診断を実施した件数	522 件 (R 2.4 ~ 9 月)	4,650 件 (R 2 ~ 4 累計)	4,917 件 (R 2 ~ 3 累計)	105.7
	1-5-4 産地のブランド形成の推進				(産業労働部)
	県事業により海外への販路開拓に取り組んでいる事業者数	99 社 (H27 ~ 30 累計)	110 社 (R1 ~ 4 累計)	145 社 (R 3)	131.8
	1-5-5 ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興				(農政部)
	醸造用甲州供給量	3,495t / 年 (H29)	3,900t / 年 (R 4)	3,018t / 年 (R 2)	△ 117.8
	甲州ワイン生産量	2,516 kl / 年 (H29)	2,800 kl / 年 (R 4)	2,274 kl / 年 (R 2)	△ 85.2
	1-5-6 日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立				(産業労働部)
	産業技術センターにおける醸造技術向上のための依頼試験・設備利用累計件数	87 件 (H30)	390 件 (R1 ~ 4 累計)	531 件 (R1 ~ 3 累計)	136.1
	1-5-7 地域商業活性化への支援				(産業労働部)
	県の支援による新規出店者数	145 件 (H27 ~ 30 累計)	160 件 (R1 ~ 4 累計)	349 件 (R1 ~ 3 累計)	218.1
	1-5-8 郷土食等による地域の活性化・観光振興				(県民生活部)
	食の伝承マイスターの認証件数	5 件 (H30)	14 件 (R4 累計)	12 件 (R3 累計)	77.8
	1-5-9 豊かな食材を活用した食のブランドの確立				(観光文化部)
	本事業で創造した料理スタイルに賛同し、新たな取り組みを行う県内飲食関係団体数	—	2 団体 (R 4)	0 団体 (R 3)	0.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
企業支援の充実 【産業政策課】 ①③ 【成長産業推進課】 ①②④ 【産業振興課】 ⑤⑥⑦⑧	商 工 総 務 費 (178,383) 157,597 ①②③④⑥⑦ ⑧ 金 融 対 策 費 (74,924,538) 58,013,152 ⑤	本県経済の持続的発展と活性化を図るため、中小企業・小規模企業が行う新技術や新製品の研究開発、経営環境の改善に向けた事業転換や販路開拓などの取り組み、さらには、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けた生産性向上のための先進技術の活用等を支援した。 これにより、企業支援の充実が図られた。 ①経営計画・経営革新計画作成の支援 540 社 ②経営革新計画を作成した企業 40 社 ③経営計画を作成した企業 500 社 ④IoT導入事業者への県支援 1 件 ⑤商工業振興資金の新規貸し付け 1,513 件 ⑥産業技術センターにおける技術相談 5,208 件 ⑦産業技術センターにおける依頼試験 3,961 件 ⑧産業技術センターにおける設備使用 21,697 件
事業承継の促進 【産業振興課】 ①②③④	商 工 総 務 費 (10,000) 3,600 ③ 金 融 対 策 費 (750,000) 9,500 ④	県内中小企業等の事業継続と更なる発展を図るため、事業承継ネットワーク会議を通じた関係機関の連携、事業承継・引継ぎ支援センターにおける総合的な相談・支援、商工業振興資金の事業承継支援融資等により、企業の事業承継に向けた取り組みを支援した。 これにより、事業承継の促進が図られた。 ①事業承継ネットワーク会議の開催 2 回 ②承継診断の実施 3,250 件 ③企業価値簡易算定や引継ぎマニュアル作成等への支援 9 件 ④商工業振興資金事業承継支援融資の利用 1 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
地域プロモーション戦略の推進 【地域ブランド推進グループ】 ①②③	観 光 総 務 費 (58,330) 58,322 ①②③	生産者等が創意工夫しながら磨き上げている本県の優れた地域資源の品質価値を包括的に示す地域ブランドを設定して、分野横断的なプロモーションを実施することで、地域ブランドが地域資源の品質価値向上の好循環を生み出す地域プロモーション戦略を推進した。 ①コーポレートブランド「やまなし」の価値向上の取り組みシナリオ策定 令和3年9月 ②やまなしブランドの価値調査実施 令和3年12月 ③ブランド情報発信基盤整備 令和4年1月
産地のブランド形成の推進 【産業振興課】 ①②	商 工 総 務 費 (159,780) 76,092 ① 商 工 振 興 費 (3,753) 3,188 ②	地場産業のブランド力を向上させるため、山梨のワインや日本酒、ジュエリー、織物等の認知度向上や付加価値を高める取り組みの推進、販路拡大などを図るとともに、伝統工芸品の需要開拓や後継者育成を行った。 これにより、産地のブランド形成の推進に寄与した。 ①ブランドプロモーション支援事業費補助金等による地場事業者の取り組みの支援 17件 ②伝統工芸品産地組合の展示会出展や後継者育成、意匠開発の取り組みへの支援 2件
ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興 【産業振興課】 ①② 【果樹・6次産業振興課】 ③④	商 工 振 興 費 (450) 178 ①② 果樹園芸等振興費 (11,922) 10,626 ③④	山梨ワインの更なる高品質化に向け、ワイン醸造技術の向上などに取り組むとともに、優良系統の苗木の供給等による「甲州」の生産拡大や、本県に適した欧州系品種の選抜・ウイルスフリー母樹の育成と選抜による高品質化など、醸造用ぶどうの生産振興を図った。 これにより、山梨ワインの品質の向上とともに、醸造用甲州の栽培者の増加や温暖化に対応した欧州系品種の選抜が進むなどワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興に寄与した。 ①ワイナリーへの技術指導 8社 ②ワイン関係セミナーの受講 4回 参加者176人 ③欧州系品種のウイルスフリー化 3品種 6系統 ④優良系統甲州の苗木の供給 苗木生産 (公財)山梨県農業振興公社 苗木供給本数 約1,000本

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
日本酒産業の振興 と原材料用酒米の 産地確立 【産業振興課】 ①② 【食糧花き水産課】 ③④	商 工 総 務 費 (18,608) 18,134 ①②	日本一の名水の地山梨で造られる日本酒の更なる高品質化に向け、日本酒醸造技術の向上などに取り組むとともに、本県に適合する酒米品種を選定し、原材料となる酒米の生産拡大を促進した。 これにより、日本酒の研究開発機能の強化と生産技術者の育成が図られるとともに、酒米の産地確立に寄与した。 【日本酒研究開発】 ①液体クロマトグラフ質量分析計の導入 1 台 ②日本酒を含む発酵食品産業向けのセミナーの開催 4 回 参加者 110 人 【酒米の生産拡大等】 ③転作作物等の生産拡大に必要な機械・施設整備の支援 (コンバイン、低温倉庫空調機) 2 件 ④国の経営所得安定対策等交付金への上乗せ助成面積 25.0 ha
地域商業活性化への 支援 【産業政策課】 ①② 【産業振興課】 ③	商 業 振 興 費 (10,534) 4,833 ①② 金 融 対 策 費 (300,000) 180,548 ③	商店街をはじめとした地域商業の活性化を推進するため、商店街等が実施するハード整備やソフト事業、起業による新規出店を支援するとともに、地域商業活性化を担う人材を育成した。 これにより、地域商業の活性化が図られた。 ①地域商業活性化に向けた新規出店等の支援 32 件 ②商店街人材育成セミナー 令和 4 年 2 月 ③商工業振興資金起業家支援融資の利用 155 件
郷土食等による地 域の活性化・観光 振興 【県民生活安全課】 ①②	消 費 者 行 政 費 (1,541) 1,389 ①②	食による地域の活性化や観光振興を図るため、食の伝承マイスターの認証や「やまなしの食」のデータベース化などにより、県産食材を使った郷土食等を継承する取り組みを進めるとともに、広く魅力を発信することで、食による地域の活性化に向けた取り組みを進めた。 これにより、やまなしの食や食文化に対する関心が高まり、「食」による地域の活性化や観光振興に寄与した。 ① 郷土食料理教室の開催 2 回 ② 「やまなしの食」データベースの作成 53 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
豊かな食材を活用した食のブランドの確立 【観光振興課】 ①②③	企画総務費 (2,711) 1,778 ①②③	食の魅力による誘客や観光産業の収益力向上を図るため、本県の豊かな食材を活用した新たな料理スタイルの創造や飲食関係団体の支援などを行った。 これにより、本県の豊かな食材が発掘されるなど、食のブランド確立に寄与した。 ①県産食材に係る調査の実施 ②やまなし美食コンソーシアムの開催 1回 ③やまなし美食セミナーの開催 令和4年1月 51名参加
史跡甲府城跡の適切な継承と中心市街地の活性化 【文化振興・文化財課】 ① 【都市計画課】 ② 【産業政策課】	文化財保護費 (3,093) 2,768 ① 土木総務費 (7,241) 7,241 ② 公園費 (461,193) 238,872 [222,321] ②	郷土への誇りや愛着を深め、史跡甲府城跡の本来の姿を明らかにし、次代へ着実に継承しつつ、更なる活用を推進するとともに、中心市街地の賑わいの創出や活性化を図るため、甲府城周辺整備を進めた。 これにより、甲府中心市街地の活性化に寄与した。 ①史跡甲府城跡整備基本計画の策定 令和4年3月 ②都市公園整備に向けた事業用地取得・物件補償 5件